

LF990 OP72 LF51/LF52 OP70 **/4K/8K** LEADER

4K/8K 放送対応(3224MHz) オプション

LEVEL・C/N 測定、チルト測定

●4K/8K 放送対応(3224MHz) LEVEL・C/N 測定機能

本オプションは、LF 990 および LF52/LF51 の BS/CS 放送測定周波数範囲を 3300MHz に拡張し、BS/110 度 CS 左旋円偏波における高度広帯域衛星デジタル放送 (4K/8K 放送) のレベルおよび C/N 測定に対応するものです。



LF990 シングル測定画面



LF51 マルチ測定画面

規格

周波数範囲

・ BS・CS 950 ~ 3300 MHz

追加 CH テーブル

- ・ BS 9.505 GHz (2,4,6,8,10,12,14,16,18,20,22,24ch)
- ・ N-SAT-110 9.505 GHz (ND25,1,3,5,7,9,11,13,15,17,19,21,23)
- ・ BS+N-SAT-110 LNB 混合(10.678/9.505 GHz) (1,3,5,7,9,11,13,15,17,19,21,23, 2,4,6,8,10,12,14,16,18,20,22,24, 25,1,3,5,7,9,11,13,15,17,19,21,23)
■は現行方式初期設定です。

放送形式

高度広帯域衛星デジタル放送(ISDB-S3)

レベル測定

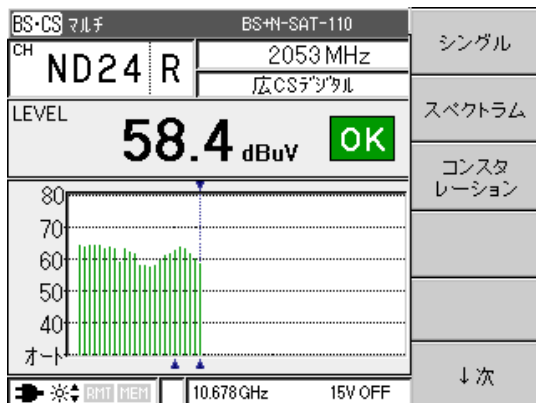
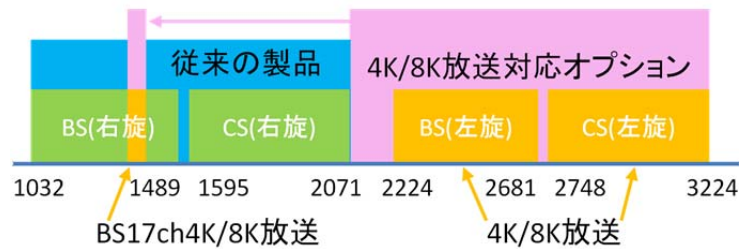
- ・ 測定範囲 45 ~ 100dBuV
- ・ 分解能 0.1 dB
- ・ 確度 ±3 dB

C/N 測定

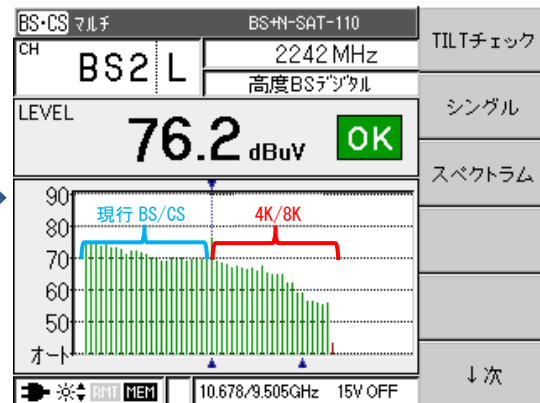
- ・ 測定範囲 5 ~ 25 dB

TILT 機能

全ての放送方式のノーマライズ (正規化)表示



LF990 OP72 無しマルチ測定画面 例



LF990 OP72 マルチ測定画面 例

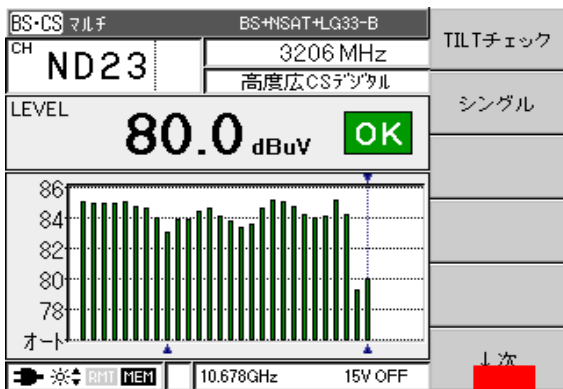
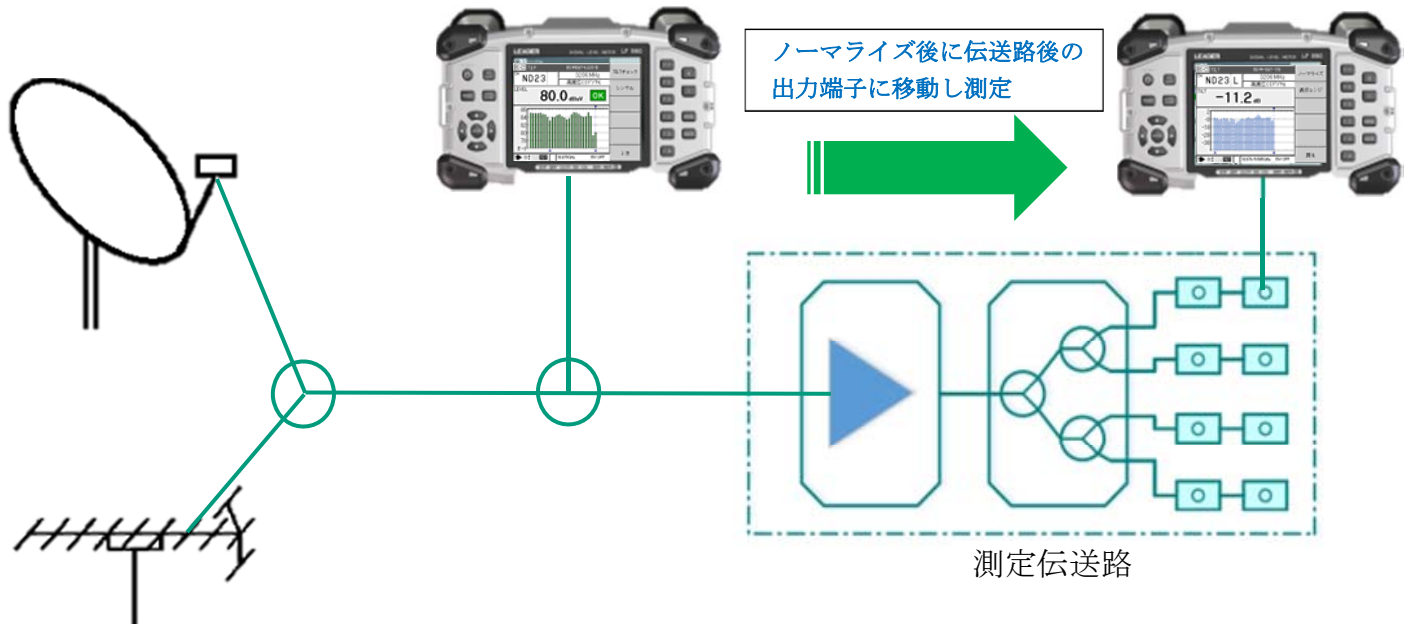
お使い頂いている LF990、LF51、LF52 も有償アップグレード可能です。

注：C/N 測定は、帯域外をノイズポイントとして測定する方式を採用しています。
ブロックコンバータやブースタ出力においては測定値誤差が大きくなる場合があります。
入力レベルによって測定範囲が異なります。

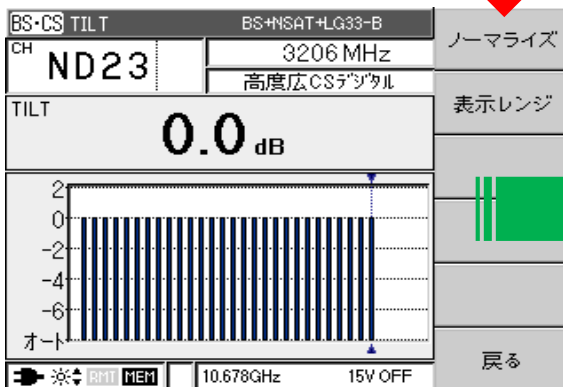
●チルト測定機能

伝送路入力レベルを基準としてノーマライズ（正規化）したあと、ビル共聴等で配線された後段の特性を確認することで伝送路の特性を一目で確認することができます。

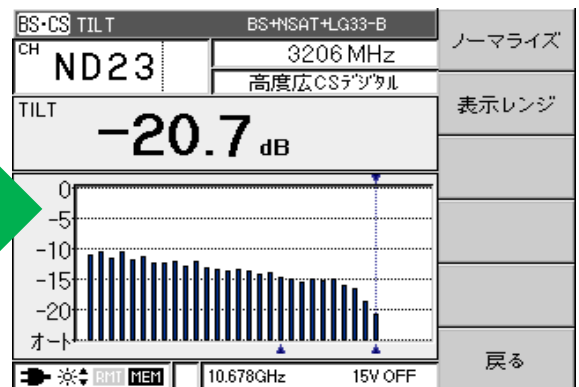
BS/CS のみならず全ての周波数範囲、全ての方式のマルチ測定モードにて動作いたします。



伝送路前測定表示



ノーマライズ化



伝送路周波数特性定表示